

安全データシート(SDS)

JIS Z 7253:2019
改訂日:2025年9月3日
版4

部品番号:K9088PE 研磨剤(アルミナ)

1. 製品及び会社情報

製品名: 研磨剤(アルミナ)

提供者の情報

会社名: 横河電機株式会社
所在地: 〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32
電話番号: 0422-52-5649

推奨用途及び使用上の制限: 弊社指定の電極の研磨洗浄にご使用ください。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 区分に該当しない/分類できない

健康に対する有害性 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 1(肺;吸入)

環境に対する有害性 区分に該当しない/分類できない

GHS ラベル要素 絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報 呼吸器への刺激のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による肺の障害

注意書き[安全対策] 粉じんを吸入しないこと。
取扱い後はよく手などを洗うこと。

注意書き[応急措置] 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師の診察/手当てを受けること。

注意書き[保管(貯蔵)] 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

注意書き[廃棄] なし

他の危険有害性 情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

化学物質(単一物質)

組成及び成分情報

化学名 または一般名	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	含有率(wt%)
酸化アルミニウム	1344-28-1	(1)-23	99%以上

4. 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合

吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに石鹼と水で十分に洗い流す。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。必要に応じて医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

直ちに口をすすぎ、水を飲ませる。意識のない人の口には何も与えないこと。必要に応じて医師の手当てを受ける。

予想される急性症状

吸入:咳、眼:発赤

遅発性症状の最も重要な徴候症状

目に入ると炎症を起こす可能性がある。

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤

この製品自体は不燃物であるため、周辺火災に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

情報なし

特有の危険有害性

情報なし

特有の消火方法

危険でなければ速やかに容器を安全な場所に移す。

火災時の特有危険有害性

情報なし

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な自給式の呼吸器用保護具、目や皮膚を保護する防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

粉じんが発生しないようにするとともに、作業の際は適切な保護具を着用し、粉じんを吸引しないようにする。

環境に対する注意事項

収集物は産業廃棄物として処理する。

漏出した製品が河川等に排出されないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出されないように注意する。

二次災害の防止策

粉じんの発生、拡散を避けること。

封じ込め、浄化の方法及び機材

漏出した製品を湿らせた後、廃棄用の容器に移し、法令及び条例に従って廃棄処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	必要に応じて局所排気装置を使用すること。
注意事項	取扱説明書にしたがって、適切に作業を行うこと。
安全取扱注意事項	粉じんを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 必要に応じて、個人用保護具を着用すること。 できるだけ屋外又は換気の良い区域で使用すること。

保管

安全な保管条件	直射日光を避け、容器を密閉して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	ガラス、ポリプロピレン、ポリエチレンなど
混触禁止物質	情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度(ばく露限界値、生物学的指標)

日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告(2012): 第1種粉塵 吸入性粉塵 0.5mg/m³, 総粉塵 2mg/m³
ACGIH: TLV-TWA(時間加重平均値): 金属アルミニウムとその化合物1mg/m³

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器用保護具	防塵マスク等の適切な保護具を着用する。
手の保護具	保護手袋(クロロプレンゴム製、ニトリルゴム製を推奨)を着用する。
眼の保護具	保護眼鏡(側板付きやゴーグル型または全面保護型)を着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて適切な保護衣や保護長靴を着用する。

適切な衛生対策

使用時には飲食、喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体(結晶性粉末)
色	白色
臭い	無臭

融点／凝固点	2030℃ (HSDB)、2054℃ (ICSC)、2072℃ (IUCLID)
沸点又は初留点及び沸騰範囲	2977℃ (HSDB)、3000℃ (ICSC)
可燃性	不燃性
爆発下限及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	不燃性
自然発火点	不燃性
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に不溶
n-オクタノール水分分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	0hPa(20℃)、1hPa(2158℃) (HSDB)
密度及び／又は相対密度	3.4-4.0 (HSDB)、3.97 (ICSC)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	安定である。
反応性	情報なし。通常の取り扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	通常の保管および使用条件下ではなし。
避けるべき条件	高温と直射日光
混触危険物質	情報なし。
危険有害な分解生成物	情報なし。

11. 有害性情報

製品の有害性情報

急性毒性	経口LD50: >5000mg/kg (Rat) (区分に該当しない)
	経皮LD50: 情報なし
	吸入LC50: 情報なし

皮膚腐食性／刺激性 情報なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 情報なし

呼吸器感受性又は皮膚感受性 情報なし

生殖細胞変異原性

in vivo 変異原性試験が実施されておらず、in vitro 変異原性試験においてもエームズ試験(陰性)のみであり、データ不足と判断した。

発がん性

ACGIHはグループA4(ヒト発がん性に分類できない物質)に分類している。

生殖毒性 情報なし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

上気道刺激性(ICSC (2000))の記載より区分3(気道刺激性)に分類した。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

酸化アルミニウムの職業暴露により、肺に腺維症が認められた(EHC (1997))との記載より区分1に分類した。

誤えん有害性 情報なし

12. 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし。本品はオゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書付属書A、B、C、およびEに属する特定物質に該当しない。
その他環境情報なし	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は、内容物を除去しプラスチックゴミとして自治体の基準に従って処分する。

14. 輸送上の注意

ADR/RID(陸上)	規制されていない。	
	国連番号	-
	品名	-
	国連分類	-
	副次危険性	-
	容器等級	-
	ERGコード	-
	海洋汚染物質	非該当
IMDG(海上)	規制されていない。	
	国連番号	-
	品名	-
	国連分類	-
	副次危険性	-
	容器等級	-
	EmS番号	-
	海洋汚染物質	非該当
IATA(航空)	規制されていない。	
	国連番号	-
	品名	-
	国連分類	-
	副次危険性	-
	容器等級	-
	環境有害物質	非該当

15. 適用法令

国際インベントリー

EINECS/ELINCS	収載
TSCA	収載

国内法令

消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
危険物船舶運送及び貯蔵規則	非該当
航空法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
PRTR法	非該当
水質汚濁法	指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)
輸出貿易管理令	非該当
土壤汚染対策法	非該当

16. その他の情報

参考文献

- 参考資料 1 日本軽金属株式会社 アルミナ, ローソーダアルミナ, 電融アルミナ, 高純度アルミナ 安全データシート 整理番号:A-01-1
- 参考資料 2 富士フイルム和光純薬株式会社 酸化アルミニウム 安全データシート W01W0101-0196 JGHEJP
- 参考資料 3 昭和電工株式会社 アルミナ(酸化アルミニウム) 安全データシート CE-JP101

免責事項

本 SDS は JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成しております。すべての情報を網羅しているものではありませんので、新たな情報を入手した場合には追加または訂正されることがあります。

SDS は、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので、製品規格書等とは異なり、化学特性や物性特性などを保証するものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

注意事項等は、電極の研磨剤としての使用用途のみを対象とした内容になります。

以上